

平成30年2月9日
練馬区立田柄小学校
養護教諭 浅川 沙織

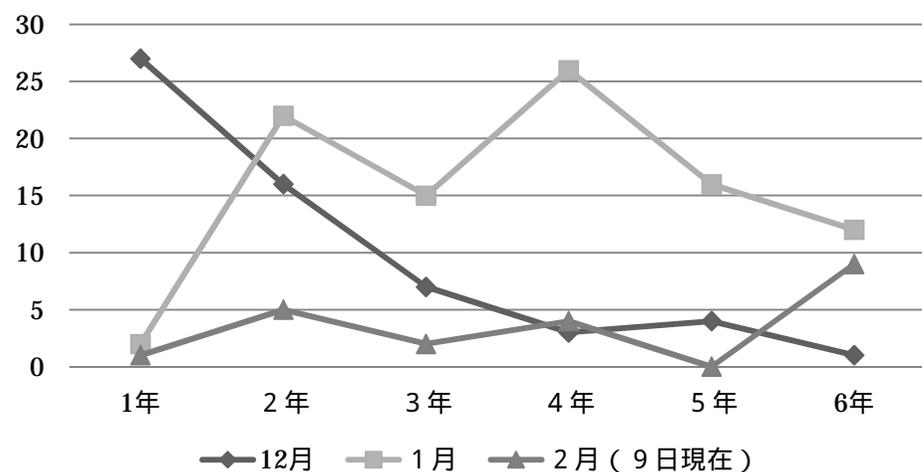
暦の上では春とはいえ、2週に渡り雪が降るなど、まだまだ寒い日が続いています。インフルエンザは過去最高の感染者数と報道されているように、本校でも、2/9現在、全校児童の約3割の児童が感染しており、大流行となっております。

保健室でも朝から頭痛などを訴え来室する児童も少なくなく、授業が受けられずにそのまま早退という児童もいます。学校は本人が授業はできない状態が続けば、早退をすすめることになります。

朝、自宅で発熱がなくても、体調不良がある場合は、様子を見てから登校させる、もしくは休ませる等の判断をよろしくお願いたします。



田柄小のインフルエンザ感染状況



学級閉鎖は、12月に1-2, 2-2。
1月に2-3 5-2
6-2 4-2の順で実施され、全学年に感染は拡がりました。
12月はA型、1月以降B型中心にA型も出ている状況です。

手洗い実験

学校薬剤師の内田先生、ご協力のもと、保健委員会で寒天培地による手洗い実験をしました。

感想

- ・石けんで20秒くらい洗うときれいになることが分かった。
- ・洋服で洗うと、洗う前より、汚くなるのが分かった。

洗っていない、汚れた手



- ・石けんで洗うのに20秒、水洗いで10秒合わせて30秒洗うと効果的。
- ・きれいなハンカチでしっかり水気がなくなるまで拭き取ると、細菌が付着しにくい。

水だけで洗った手



石けんで洗い、きれいなハンカチで拭いた手



石けんで洗い、洋服で拭いた手



保健委員会がこの結果をまとめ、保健室前に掲示します。ぜひ見てください。

学校医の本橋先生に教えていただく、「インフルエンザ特集」

今年のインフルエンザの特徴

例年は12月～1月にA型が流行し、その後B型が入れ替わりで流行するが、今年は1月にB型も流行が始まり重なったため、大流行にもなり、A型とB型の2回かかる人も多く出ている。最も多いのは5～9才。

A型の特徴として、高熱、悪寒、頭痛、関節痛がB型よりやや強く出る傾向。B型はA型と同じような症状がある一方で、発熱が低く、胃腸症状が主でインフルエンザと気付かれないこともある。

受診のタイミング

迅速検査で診断を行うが、通常の方法として12時間経たないと陽性になりにくいので、その後に受診するとよい。午後に発熱したら、翌日受診で良い。しかし、発症から48時間以上経つと薬の効果が落ちるので遅れないようにする。

胃腸症状が主でも校内で流行がある場合は、受診し、検査を受けてほしい。

予防について

- ・流行前はワクチンを受けること。
- ・流行後は、外出後の手洗い、口鼻を触らないことが最も大切。
(マスクは予防にはそれほど効果がないが、口鼻を触らない、口腔内の乾燥を防ぐ面では効果的)
- ・栄養・休養(睡眠)を取り、抵抗力を下げないことが大切。